

◆◆◆ 平成28年度 社協会費ご協力のお願い ◆◆◆

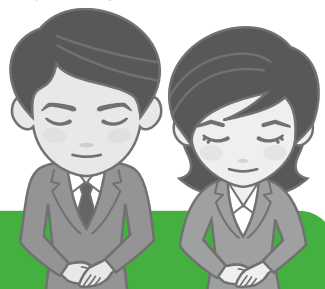
皆さまからいただきました社協会費は、支部社協や民生委員・児童委員、ボランティア団体等と連携し、子どもや高齢者、障がい者を支援する事業や地域づくりをすすめる事業に充てさせていただいております。

また、社協会費の一部は、皆さまのより身近な地域活動に取り組む市内8支部社協へ助成金として交付し、地域福祉推進の大切な活動費となります。

このように社協会費は、全市的な福祉活動と、より

身近な地域活動の両者を応援できるしくみになっています。本会の活動趣旨にご賛同いただき、本年度も一般会員・特別会員・特別賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

また、新しい会員も募集しておりますので、よろしくお願いいたします。



会員会費

●一般会員

個人 年額 (1口)

600円

●特別会員

個人 年額 (1口)

1,000円以上

●特別賛助会員

団体 年額 (1口)

2,000円以上

白石市ボランティア連絡協議会



▲笑うことの大切さを学びました。

4月27日、市総合福祉センターで研修会を開催し、白石市ボランティア連絡協議会会員32名が参加。坂本よし子氏をお招きし、「ラフターヨガ 笑いのヨガ」と題し、研修会を開催いたしました。おなかの底から声を出して笑うことで、内面的な健康維持ができると今注目浴びているラフターヨガを皆さん食い入るように勉強されていきました。さまざまな分野で活動されるボランティア団体の会員さんがいつまでも健康で活躍されることを願っています。

熊本地震義援金ご芳名

皆さまからの
あたたかい善意
ありがとうございました。

宮城県共同募金会を通じ、被災者へ配分されます。



▲ジュニアリーダーキャロルの贈呈式
平成 28 年 6 月 10 日現在 (単位: 円)

①白石市総合福祉センター職員一同 (福祉課、長寿課、地域包括支援センター、 社会福祉協議会)	26,134
②113カラオケ会 春のうたまつり	24,220
③白石刈田仏教会	192,025
④小原検断屋敷まつり実行委員会	2,450
⑤ミケねこ	34,125
⑥白石ジュニア・リーダーキャロル こけしコンクールでの募金活動	315,731
⑦深谷地区運動会	27,406
⑧募金箱	4,050

社会福祉 法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1
(白石市総合福祉センター内)

TEL 0224-22-5210 FAX 0224-22-1571

生活総合相談窓口 0224-22-2130

E-mail: shiro-bokin@mocha.ocn.ne.jp

「しろいしし社協だより」は、
赤い羽根共同募金により作成されております。



しろいしし



社会福祉 法人 白石市社会福祉協議会

しろいしし 社協だより

ふれあいネットワーク

No.56

2016年7月1日 発行

生活支援体制整備事業が4月から始まりました。



生活支援コーディネーターが、
各地区サロン等におじゃまします。



深谷コスモス会・南区ふれあいサロンの
合同運動教室の様子

- 白石市社会福祉協議会では、白石市からの委託事業として「生活支援体制整備事業」が4月からスタートしました。
- これは、平成27年4月から新たに施行された事業です。これまでの介護予防は、筋肉トレーニング中心の運動・体操が主でしたが、これからは、運動・体操と併せ高齢者等が社会参加をしながら地域でいきいきと暮らすことが、介護予防につながると、考え方が変わってきました。
- 生活支援体制整備事業では、市内地域で自主運営しているお茶を飲みながらお話しする場、食事会や健康体操などをする場になっている「ふれあいサロン」等のネットワーク作りやふれあいサロンを支えるボランティアの方々の話し合いの場を設けるお手伝いなどをするものです。
- 現在の活動は、各地区のふれあいサロンを訪問し、いろいろお話をお伺いしているところです。

編集後記

あつという間に2016年も半年が過ぎ、また夏の季節がやってきましたね。仙台での先進7カ国財務相・中央銀行総会議(G7)や伊勢志摩サミットも無事に終わり、もうすぐ参院選もあり政治に注目が集まります。

今回は4月より開始した「生活支援体制整備事業について」を表紙にしてみました。高齢者や障害者の方が住み慣れた地域でお互いの支え合いのもと、ますますご活躍されるように、皆さまからいただいたさまざまな意見を集約し活用していきたいと思っております。

まずは、みなさん体調管理は十分に注意して、がんばって夏を乗り切りましょう!

白石市社会福祉協議会 職員一同

主な内容

- 平成27年度 決算報告 ●平成28年度 事業計画及び当初予算 2
- 大鷹沢地区民生委員児童委員の紹介 ●生活困窮者自立支援事業について 3
- 平成28年度「フードバンク事業」について ●社会福祉協議会 理事・評議員・監事の紹介
- 社協会費ご協力のお願い ●白石市ボランティア連絡協議会 4
- 熊本地震義援金ご芳名



社会福祉協議会とは?

社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。

平成27年度 決 算

(単位：円)		(単位：円)	
勘 定 科 目	決 算 額	勘 定 科 目	決 算 額
会 費 収 入	6,514,800	人 件 費 支 出	76,603,894
寄 附 金 収 入	123,008	事 業 費 支 出	8,226,202
経 常 経 費 補 助 金 収 入	15,799,605	事 務 費 支 出	20,084,384
受 託 金 収 入	45,188,394	貸 付 事 業 支 出	50,000
貸 付 事 業 収 入	94,000	共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	8,389,816
事 業 収 入	1,957,051	助 成 金 支 出	2,862,600
負 担 金 収 入	49,000	そ の 他 の 支 出	1,000,000
介 護 保 険 事 業 収 入	45,149,966	固 定 資 産 取 得 支 出	1,186,000
障害福祉サービス等事業収入	220,892	基 金 積 立 資 産 支 出	5,287
そ の 他 の 事 業 収 入	858,740	積 立 資 産 支 出	9,129
受 取 利 息 配 当 金 収 入	23,805	そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	906,240
そ の 他 の 収 入	35,030	当 期 末 支 払 資 金 残 高	31,951,407
基 金 積 立 資 産 取 崩 収 入	170,000	支 出 合 計	151,274,959
前 期 末 支 払 資 金 残 高	35,090,668		
収 入 合 計	151,274,959		

平成28年度 事業計画及び当初予算

- 重点
目標
- 1 ともに支え合う地域社会づくりの推進

2 小地域福祉活動の推進

3 在宅福祉サービスの推進

4 組織体制の強化と自主財源の確保

基本方針 少子高齢・人口減少社会の加速化と、核家族化等による家族の形態や価値観の変化、経済困窮等の課題が顕著となり、社会福祉に対する住民ニーズはますます多様化、複雑化しております。

そうした社会環境の変化により、現在参議院において社会福祉法人制度改革が継続審議されており、可決されれば4月から経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的な取組を実施する責務が規定され、それらに適切に対応していかなければなりません。

このように社会福祉法人の存在意義が問われている中で、白石市社会福祉協議会は地域福祉活動に取り組む極めて公益性の高い社会福祉法人として白石市と連携のもと、福祉、保健、医療、教育等の関係機関、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、共同募金委員会等と連携しつつ、ノーマライゼーションの啓発や市民参加によるボランティア活動の振興および協働活動の支援を実施していきます。また、東日本大震災を教訓とした災害時の要援護者支援体制の確立などに積極的に取り組んでいきます。

また、将来の組織運営や相談援助をしっかりと担える人材を育成する

とともに、人事交流によるスキルアップを図り、組織運営や相談援助研修の充実、メンタルヘルス対策に努めます。

平成27年度施行の生活困窮者自立支援事業はセーフティーネットとして、社会福祉協議会の持つ相談・生活支援等の機能を生かした事業展開を実施しているところであり、その延長線上で本年4月から、急に資金が必要となった要援護世帯に対し、無利子、無担保で貸し付ける「応急小口資金貸付事業」を立ち上げます。

また、介護保険制度でいち早く総合事業に移行した白石市においては、平成28年度からは本市社協に「生活支援体制整備事業」を委託し、生活支援コーディネーターを中心として、各地域に出向き地域でのニーズと資源を把握から始めて、多様な主体によるサービス提供を目指しており、本市社協としてこれを契機に、より一層地域に根ざした社協を目指してまいります。

以上の状況を踏まえ、次の重点目標に沿った事業を展開し、「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」を着実に推進します。

(単位：円)	
勘 定 科 目	本年度当初予算額
会 費 収 入	6,516,000
寄 附 金 収 入	140,000
経 常 経 費 補 助 金 収 入	19,311,000
受 託 金 収 入	55,031,000
貸 付 事 業 収 入	1,497,000
事 業 収 入	2,055,000
負 担 金 収 入	70,000
介 護 保 険 事 業 収 入	46,326,000
障害福祉サービス等事業収入	234,000
そ の 他 の 事 業 収 入	928,000
受 取 利 息 配 当 金 収 入	34,000
そ の 他 の 収 入	141,000
基 金 積 立 資 産 取 崩 収 入	12,260,000
積 立 資 産 取 崩 収 入	100,000
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	3,422,000
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入	1,118,000
前 期 末 支 払 資 金 残 高	31,807,535
収 入 合 計	180,990,535

(単位：円)	
勘 定 科 目	本年度当初予算額
人 件 費 支 出	83,885,000
事 業 費 支 出	9,486,000
事 務 費 支 出	24,076,000
貸 付 事 業 支 出	1,800,000
共 同 募 金 配 分 金 事 業 費	9,081,000
助 成 金 支 出	2,910,000
そ の 他 の 支 出	1,000,000
固 定 資 産 取 得 支 出	255,000
基 金 積 立 資 産 支 出	10,097,000
積 立 資 産 支 出	12,000
拠 点 区 分 間 繰 入 金 支 出	3,422,000
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出	1,118,000
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	942,000
当 期 末 支 払 資 金 残 高	32,906,535
支 出 合 計	180,990,535



大鷹沢地区民生委員
児童委員です！

今回は、大鷹沢地区民生委員児童委員の活動をご紹介します。

大鷹沢地区は、民生委員 6 名、主任児童委員 2 名で活動しております。

「地域住民とのネットワークづくり」を目標に大鷹沢地区のさまざまな行事に参加させていただいております。

夏休み期間に「大鷹沢保育園」「大鷹沢小学校」「白石東中学校」近辺で生徒さんが通園・通学する際危険な場所をパトロールし、生徒指導の先生をお招きし、大鷹沢地区児童の実情把握に努めております。

またボランティア団体や白川地区民協・小原地区民協と合同で視察研修等を行い、白石市の高齢者施設の状況や民生委員児童委員同士での情報交換を行い、お互いのスキルアップを図っております。

昨今、高齢者人口の増加により住民同士の交流不足が危惧されていますが、大鷹沢地区のみなさんがいつでも安全で健康な生活を送れるように、今年もがんばって参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。



5月15日(日)
大鷹沢小学校生徒16名、先生3名、大鷹沢まちづくり振興会、孝子会、孝急寺住職参加のもと、白石陽光園八枚田にて田植えをしました。

◀手植えは本当に大変!!

生活困窮者自立支援事業

相談から自立まで継続して支援します。

社会福祉協議会では、平成27年4月から白石市より受託し、さまざまな生活問題に対応する「相談窓口」を開設して次のような相談に応じています。

ご相談の例

- 経済的な問題で生活に困っている
- 仕事をやめて家賃が払えない
- 失業したが、なかなか仕事が見つからない
- 引きこもりやニートで悩んでいる

支援の内容

○生活、就労、心身の問題などお困りになっている状況を伺い、お一人おひとりに寄り添ったプランを作成し、一緒に解決の道を探します。

○仕事探しは、ハローワークと連携して就職活動をサポートします。

相談できる人

白石市にお住まいで、経済的にお困りの方ならどなたでもご相談できます。ただし、生活保護受給中の方は対象外です。

相談方法

次の相談窓口へお越しください。窓口に来られない場合には、相談支援員が訪問することもできます。

◇白石市生活総合相談窓口（白石市総合福祉センター内）

◇開設日 平日(土・日曜日、祝日を除く)8時30分～17時15分

◇電 話 0224-22-2130(直通)

▶平成28年度「フードバンク事業」について

～食品「お米」の提供を受付しています～

昨年8月からコープ東北サンネット(仙台市)と連携し、生活困窮世帯に対し食品を無償で提供するフードバンク事業を始めています。

平成28年度から市民皆さまから食品(お米)の提供を受付けいたしますので、ご協力をお願いします。

受付方法 白石市社協にお電話ください。受け取り方法をご相談します

※生産年や生産地が不明なものは受付できません。

※玄米で袋入りのものです。

受付期間 平成28年8月から当面の間

昨年度実績 保存食品、乾麺など23世帯(お米は8世帯)に支援を行いました。

提供対象世帯

原則、白石市に居住し、白石市社会福祉協議会で実施する生活困窮者自立支援制度の利用申込者や民生委員・児童委員が提供を必要と認める者

白石市社会福祉協議会理事・評議員・監事のご紹介

社会福祉協議会理事・評議員・監事が一部改選となりましたので、新任及び退任された方をご紹介します。

よろしくお願いします。(敬称略)

新任	理 事	アベ ジュンジ 阿部 俊治(白石)
	評 議 員	キヂミ ヒロトシ 吉見 広智(白石)
	監 事	カクバリ イチロウ 角張 一郎(大鷹沢)

多年にわたり、社会福祉向上に尽力を頂き誠にありがとうございました。(敬称略)

退 任	理 事	サトウ マサアキ 佐藤 正明(越河)
	評 議 員	コヤマ サダ 小山 定男(白石)